



学校だより ～三力一心～

平 岩 小 中 学 校
校 長 室 通 信 No.28
平 成 2 9 年 3 月 2 3 日

よくがんばりました

この通信は、不定期ですが、
月2回ほど発行します。

1年がこんなにも短く感じるとは思いませんでした。
昨年4月7日が平成28年度1学期のスタート。じつくりと振り返れば、様々な行事があり、その都度子どもたちの秘めた力に驚き、成長を実感してきた1年でした。

学校の成果を数値で表すことは、教育現場ではなかなか難しく、最も端的なのは子どもの姿を見ていただくことだと考えています。

先日卒業証書授与式では式辞の中で次のようなことを話しました。

『小中一貫校の成果は何ですか、と問われたら、迷わずこう答えます。「目の前にいる9年生を見てください。彼らの姿そのものです。」と。』

ただ、あくまでも義務教育を卒業する段階での姿としての表現です。彼らはこれからもっともっと人間性を磨き、社会性を身に付けていくと思います。同じ式の中でその後ろ姿を見ていた6年生や在校生が、「自分はこの9年生を超えてやる。」という意識をもっていてくれたらうれしい限りです。

明日、平成28年度の修了の日を迎えます。同時に、4年生と7年生は、それぞれ前期ブロック、中期ブロックの過程を修了します。それぞれが進級し、制服を着て、ネクタイの色が変わるだけでなく、行動や意識そのものが新しいステージにふさわしいものになることを期待しています。

この1年の子どもたちの頑張る姿は、外部の方々からしても高い評価を得てきました。あいさつに掃除、行事に取り組む姿勢などなど……。かといって、課題がないわけではありません。学力や進路意識、相手を思いやる心など、もっと身に付けさせるべきことがたくさんあります。

平岩の子どもたちにはまだまだ「伸びしろ」があると考えています。「本年度中に課題としてみえてきた部分を、次年度は必ず改善する」そのような気持ちで新年度を迎えたいと思います。

保護者の皆様には、この1年間本当にお世話になりました。皆様のご協力のおかげで、私たち職員も微力ながら子どもたちの成長の一端に関わらせていただくことができました。来年度も引き続きご支援、ご協力をお願いいたします。

この1年、子どもたちは本当によくがんばりました。明日は、この1年の労をねぎらってあげてください。そして、新年度の準備を親子で一緒にしながら、進級に向けた意欲を高めてあげてください。



手をかけた分だけ・

日向市の公共施設等を対象にした「花のコンクール」の審査がありました。平岩小中学校は、「学校の部門」で、なんと**最優秀賞**をいただきました。

この立役者は、もちろん技術員の日高さんやその補助をしてくれる大山さんです。お二人の献身的な仕事ぶりは、この紙面だけでは表せません。来校したお客さんは、まず正門から続く花壇や玄関のプランタなどに目を奪われるようです。

お二人の努力が実を結び、校長もとてもうれしく思います。

そして、忘れてならないのは、並んだプランタの一部は児童生徒が丹精込めてお世話したものであるということです。心を込めた分、とてもきれいな花が咲きました。これも高評価の要因だと考えています。

技術員さんや子どもたちそのものが評価されたようで、何とも言えない喜びに浸っています。

新年度に向けて

春休みは、人の動きも慌ただしく、気持ちが高ぶる時期でもあります。子どもたちが落ち着いて行動するよう、各家庭でもお声かけいただきますようお願いいたします。始業の日には、全員が元気で意気揚々と登校してくることを切に願っています。

4月 7日（金）1学期始業の日
11日（火）入学式
16日（日）参観日・PTA総会
17日（月）家庭訪問
↓
27日（木） "

新年度も、子どもたちの
活躍、成長を楽しみにしています。

